

## 製品・事業活動関連環境データ

製品の燃費・CO<sub>2</sub>排出量(企業平均)(※1)

(年度)

		単位	2015 (※2)	2016	2017	2018	2019
日本(燃費)	乗用車(※3)	km/L	18.4	19.2	18.2	18.3	18.8
米国(燃費)	輸入乗用車	mpg	39.8	41.3	44.6	45.9	45.4
	小型トラック	mpg	34.4	34.6	34.9	35.8	35.9
欧州 (CO <sub>2</sub> 排出量)	乗用車	g-CO <sub>2</sub> /km	110	118	118	121	-
中国(燃費)	輸入車	L/100km	8.4	10.0	12.0	12.0	12.0
	現地生産車	L/100km	7.4	7.6	7.5	7.1	7.2

※1: 各国・地域の当局への届出値または当局の公表値

※2: 日本は年度、米国は年式、欧州・中国は暦年

※3: 電気自動車およびプラグインハイブリッド車を含まない

### 事業活動関連データ

#### CO<sub>2</sub>排出量

(年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
生産	千t-CO <sub>2</sub>	449	394	477	513	472
非生産	千t-CO <sub>2</sub>	69	67	63	70	62
日本	千t-CO <sub>2</sub>	400	363	387	404	356
アジア	千t-CO <sub>2</sub>	89	91	147	173	173
その他	千t-CO <sub>2</sub>	29	7	6	6	5
スコープ1(直接排出)	千t-CO <sub>2</sub>	110	104	120	132	117
スコープ2(間接排出)	千t-CO <sub>2</sub>	408	357	420	451	417
(スコープ1+2)合計	千t-CO <sub>2</sub>	518	461	540	583	534
スコープ3(サプライチェーン 温室効果ガス排出量)	千t-CO <sub>2</sub> eq	35,711	32,592	38,721	42,580	35,429
(スコープ1+2+3)合計	千t-CO <sub>2</sub> eq	36,229	33,053	39,261	43,163	35,963

対象拠点: マネジメント対象会社21社(カバー率: 100%)

CO<sub>2</sub>排出係数について

- ・「地球温暖化対策の推進に関する法律にもとづく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」にもとづく
- ・海外の電力については、IEA「CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion (2018 edition)」から出典

### スコープ3内訳

(年度)

カテゴリ		単位	2015	2016	2017	2018	2019	対象範囲
カテゴリ1	購入した製品・サービス	千t-CO <sub>2</sub> eq	6,026	5,389	5,855	6,900	6,331	連結 (生産のみ)
カテゴリ2	資本財	千t-CO <sub>2</sub> eq	164	159	297	407	319	単体
カテゴリ3	スコープ1,2に含まれない燃料エネルギー	千t-CO <sub>2</sub> eq	44	42	45	21	49	連結
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	千t-CO <sub>2</sub> eq	1,343	772	1,013	1,278	1,174	連結
カテゴリ5	事業活動から出る廃棄物	千t-CO <sub>2</sub> eq	12	10	16	19	21	連結 (生産のみ)
カテゴリ6	出張	千t-CO <sub>2</sub> eq	4	4	4	4	4	連結
カテゴリ7	雇用者の通勤	千t-CO <sub>2</sub> eq	13	13	14	14	14	連結
カテゴリ8	リース資産(上流)	千t-CO <sub>2</sub> eq	-	-	-	-	-	-
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	千t-CO <sub>2</sub> eq	-	-	-	-	-	-
カテゴリ10	販売した製品の加工	千t-CO <sub>2</sub> eq	-	-	-	-	-	-
カテゴリ11	販売した製品の使用	千t-CO <sub>2</sub> eq	27,475	25,623	30,731	33,199	26,833	全仕向け
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	千t-CO <sub>2</sub> eq	626	575	741	727	671	全仕向け
カテゴリ13	リース資産(下流)	千t-CO <sub>2</sub> eq	-	-	-	-	-	-
カテゴリ14	フランチャイズ	千t-CO <sub>2</sub> eq	4	5	5	12	13	国内の販売会社の一部
カテゴリ15	投資	千t-CO <sub>2</sub> eq	-	-	-	-	-	-

エネルギー使用量 (1次・2次エネルギー) (年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
総量	PJ(※)	10.4	8.3	9.7	10.6	9.5
生産	PJ	9.1	7.0	8.2	8.9	8.3
非生産	PJ	1.3	1.3	1.5	1.7	1.2
日本	PJ	6.9	6.5	6.9	7.2	6.6
アジア	PJ	2.8	1.6	2.4	2.9	2.8
その他	PJ	0.7	0.2	0.4	0.5	0.1

対象拠点：マネジメント対象会社21社(カバー率：100%)

※：10の15乗ジュール 単位発熱量：「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」から引用

硫黄酸化物 (年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
総排出量	t	185	193	195	219	232

対象拠点：マネジメント対象会社21社(カバー率：100%)

算定方法：使用燃料の硫黄分の重量を算定し、SO2に換算

窒素酸化物 (年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
総排出量	t	93	89	92	87	82

対象拠点：マネジメント対象会社21社(カバー率：100%)

算定方法：燃料使用量を環境省「環境活動評価プログラム」の排出係数にて換算

VOC(揮発性有機化合物) (年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
総排出量	t	2,151	2,166	1,882	2,354	2,243

対象拠点：岡崎製作所、水島製作所、パジェロ製造株式会社、水菱プラスチック株式会社

オゾン層破壊物質の排出

三菱自動車単体については、0.1t(CFC換算)未満と推計しています。

廃棄物発生量 (年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
総排出量	千t	162	150	162	187	202
生産	千t	153	141	148	176	194
非生産	千t	9	9	14	11	8

対象拠点：マネジメント対象会社21社(カバー率：100%)

廃棄物の発生・社外への排出状況(当社単体) (年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
発生総量	千t	111	93	99	104	89
社外排出	千t	52	47	48	56	53
社内再利用分	千t	59	46	51	48	36

原材料使用量 (年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
鉄・アルミ	千t	158	137	143	154	141
樹脂類	千t	2.9	3.0	3.0	2.5	2.1

対象拠点：岡崎製作所、水島製作所、京都製作所

取水水量 (年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
総量	千m <sup>3</sup>	5,452	5,606	6,727	6,211	5,915
生産	千m <sup>3</sup>	5,184	5,295	6,343	5,901	5,654
非生産	千m <sup>3</sup>	268	311	384	310	261
上水	千m <sup>3</sup>	652	428	1,150	878	988
工業用水	千m <sup>3</sup>	3,232	3,505	3,602	3,412	3,280
地下水	千m <sup>3</sup>	1,568	1,673	1,975	1,921	1,647

対象拠点：マネジメント対象会社21社(カバー率：100%)

・MMKIでは、排水の一部をリサイクル・再利用しています

2019年度は、約344千m<sup>3</sup>をリサイクル利用しました(当社グループ全体の取水量の約2%)

排水量 (年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
総量	千m <sup>3</sup>	4,170	3,977	4,577	4,504	4,104
生産	千m <sup>3</sup>	3,902	3,666	4,193	4,194	3,843
非生産	千m <sup>3</sup>	268	311	384	310	261
下水	千m <sup>3</sup>	1,635	1,708	2,405	2,396	2,041
公共水域	千m <sup>3</sup>	2,535	2,269	2,172	2,108	2,063

対象拠点：マネジメント対象会社21社(カバー率：100%)

・一部推計を含みます

## 環境会計

## 〈環境保全コスト〉

分類	主な取り組みの内容		単位	2017年度		2018年度		2019年度	
				投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト	公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚濁防止、土壌汚染防止	百万円	63	1,269	106	1,315	41	1,251
	地球環境保全コスト	地球温暖化防止、オゾン層破壊防止	百万円	388	14	171	13	250	9
	資源循環コスト	廃棄物発生量低減・適正処理、再利用の促進	百万円	6	829	22	1,226	0	1,418
上・下流コスト	使用済みバンパーの回収、自動車リサイクル法対応		百万円	35	1,789	0	1,770	0	1,688
管理活動コスト	ISO14001の認証維持、社員教育、モニタリング		百万円	120	668	56	680	130	420
研究開発コスト	燃費向上、排出ガス対策など製品の環境負荷低減に関する研究開発		百万円	3,567	39,545	1,116	41,527	1,711	51,383
社会活動コスト	環境体験授業活動、地球環境活動支援、環境関連団体への寄付、環境情報公開		百万円	2	328	68	239	0	273
環境損傷対応コスト	事業活動が環境に与えた損害への補償		百万円	10	4	0	138	0	12
合計			百万円	4,191	44,446	1,539	46,907	2,132	56,454

	単位	設備投資	研究開発費	設備投資	研究開発費	設備投資	研究開発費
〈参考〉当社グループ全体の設備投資、研究開発費	億円	999	1,025	1,377	1,243	1,039	1,308

## 〈環境保全対策にともなう経済効果(実質的効果)〉

分類	主な取り組みの内容	単位	2017年度	2018年度	2019年度
			効果金額	効果金額	効果金額
収益	廃棄物のリサイクルまたは使用済み製品のリサイクルによる事業収入	百万円	2,232	2,512	1,774
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の低減	百万円	▲675	▲889	532
	節水による水道代の低減	百万円	1	▲3	8
	省資源またはリサイクルによる廃棄物処理費の低減	百万円	▲3	▲241	114
	梱包資材のリサイクルによる梱包資材費の低減	百万円	454	439	422
合計		百万円	2,009	1,818	2,850